HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	業績一覧
Citation	西洋史論集, 3, 102-105
Issue Date	2000-03-08
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/37430
Type	other
File Information	3_102-105.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

業績一覧

『北海道大学人文科学論集』を『人文科学論集』、『北海道大学文学部紀要』を『文学部紀要』と記す。

一　著書・研究論文

1　「一三八一年の反乱（ウォット・タイラーの反乱）に関する研究」『北大史学』四、昭和三二年一〇月

2　「《フィエフ＝ラント》考序」『北大史学』八、昭和三六年三月

3　「〈批判と反省〉西ヨーロッパ封建制の理解をめぐって―木村尚三郎氏の論稿によせて」『歴史学研究』二五二、昭和三六年四月

4　「《フィエフ＝ラント》考」『史学雑誌』七三の一、昭和三九年一月

5　「封建制から官僚制へ―イギリス」『歴史教育』一三の六、昭和四〇年六月

6　「一四・一五世紀の西ヨーロッパ諸国―イギリス」『岩波講座世界歴史一一（中世五）』、昭和四五年一〇月

7　『西洋史展望』（第三章近代前期、第五章現代第一節・第三節）堀米庸三監修、晶文社、昭和四七年三月

8　「'King's clerks'に関する二つの試論」『人文科学論集』九、昭和四七年一二月

9　「中世イギリスの中央行政機関における King's clerks」堀米庸三編『西洋中世世界の展開』東京大学出版会、昭和四八年一一月

10　"Bishops of England and Their Connection with the King, 1272-1485" Part One『人文科学論集』一一、昭和五〇年一月

11　"Bishops of England and Their Connection with the King, 1272-1485" Part Two『人文科学論集』一二、昭和五一年一月

12　「ギ＝フルカン『領主制と封建制』―比較研究のための覚書き」『人文科学論集』一四、昭和五三年三月

13　「中世後期における国家と教会」イギリス史研究会『イギリス史研究』二九、昭和五五年四月

14　「イギリスの中央行政機関における長官職―一二七二年から一四八五年まで（上）」『人文科学論集』一八、昭和五七年三月

15　「"King's clerks"の下限考―"King's servants"考（序）」『人文科学論集』二〇、昭和五九年二月

16　「中世後期における"King's Servants"」イギリス中世史研究会『イギリス中世社会の研究』山川出版社、昭和六〇年二月

17　「中世イギリスの国家と教会」学生社『中世史講座』五、昭和六〇年三月

18　「ロンドン聖マルティヌス大教会と国王行政（上）」『文学部紀要』三六の一、昭和六三年一月

19　「ロンドン聖マルティヌス大教会と国王行政（中）」『文学部紀要』三六の二、昭和六三年三月

20　「ロンドン聖マルティヌス大教会と国王行政（下）」『文学部紀

要』三七の一、昭和六三年一一月

21 「中世イギリスの〝王立自由礼拝所〟―J・H・デントンの所説に関する覚書（上）」『文学部紀要』三七の二、平成一年二月

22 「中世イギリスの〝王立自由礼拝所〟―J・H・デントンの所説に関する覚書（下）」『文学部紀要』三八の一、平成一年九月

23 「〈再説〉ロンドン聖マルティヌス大聖堂―J・H・デントンの所説に関する覚書」『文学部紀要』三八の二、平成二年一月

24 「イングランドの〝司教補佐〟―一三〇〇年から一五四一年まで―（上）」『文学部紀要』三八の三、平成二年三月

25 「イングランドの〝司教補佐〟―一三〇〇年から一五四一年まで―（中）」『文学部紀要』三九の一、平成二年一一月

26 「イングランドの〝司教補佐〟―一三〇〇年から一五四一年まで―（下）」『文学部紀要』三九の二、平成三年二月

27 「イングランドにおける司教補佐の代行者委任―一一九八年から一四七一年まで―（上）」『文学部紀要』三九の三、平成三年三月

28 「イングランドにおける司教補佐の代行者委任―一一九八年から一四七一年まで―（中）」『文学部紀要』四〇の一、平成三年一一月

29 「イングランドにおける司教補佐の代行者委任―一一九八年から一四七一年まで―（下）」『文学部紀要』四〇の二、平成四年三月

30 「〈史料所見〉*Calendar of Papal Registers* における教皇官僚―一一九八年から一四七一年まで―（上）」『文学部紀要』四〇の三、平成四年三月

31 「〈史料所見〉*Calendar of Papal Registers* における教皇官僚―一一九八年から一四七一年まで―（中）」『文学部紀要』四一の一、平成四年九月

32 「国王統治と官僚聖職者―中世イギリス」『歴史と地理』四四七、平成四年一一月

33 「〈史料所見〉*Calendar of Papal Registers* における教皇官僚―一一九八年から一四七一年まで―（下）」『文学部紀要』四一の三、平成五年二月

34 「〈史料所見〉*Calendar of Papal Registers* における教皇官僚―一一九八年から一四七一年まで―（追補）」『文学部紀要』四二の一、平成五年一一月

35 「〈史料所見〉聖職者における教皇・国王への同時両属―一一九八年から一三〇四年まで―」『文学部紀要』四二の二、平成六年一月

36 「教皇官僚の給養と在イギリス聖職禄」イギリス中世史研究会『中世イングランドの社会と国家』山川出版社、平成六年二月

37 「〈史料所見〉国王直属のクレーリクスとカペラーヌス―一二一六年から一二七二年まで」『文学部紀要』四二の三、平成六年三月

38 「〈史料所見〉修道会聖職者の在俗聖職禄占有―一二一六年から一二七二年まで」『文学部紀要』四三の一、平成六年一〇月

39 「中世後期イギリスの聖職禄に関する覚え書き—術語の分類・整理」『文学部紀要』四三の三、平成七年三月

40 「中世後期イギリスの聖職禄に関する覚え書き—術語の分類・整理（追補）」『文学部紀要』四四の一、平成七年八月

41 「〈史料所見〉中世後期イギリスにおけるクレーリクス＝レーギスの給養」北海学園大学『人文論集』九号、平成九年一〇月

42 「一五世紀イングランドにおける司教管区の行政—R・L・ストーリの所説の紹介と解説—（上）」北海学園大学『人文論集』一〇号、平成一〇年三月

43 「一五世紀イングランドにおける司教管区の行政—R・L・ストーリの所説の紹介と解説—（下）」北海学園大学『人文論集』一一号、平成一〇年一〇月

二　書評・翻訳・学会発表等

1 〈紹介と批判〉
堀米庸三『西洋中世世界の崩壊』『北大史学』五、昭和三四年五月

2 〈学会発表〉
「フィエフ＝ラント考」史学会大会　西洋史部会（東京大学）、昭和三五年一一月

3 〈新刊紹介〉
F・L・ガンスホーフ（森岡敬一郎）『封建制度』『史学雑誌』七七の一二、昭和四三年一二月

4 〈書評〉
イギリス中世史研究会編『イギリス封建社会の研究』『史林』五三の四、昭和四五年七月

5 〈学会発表〉
「中世イギリスの中央行政機関における king's clerks」社会経済史学会大会　西洋史部会（横浜市立大学）、昭和四八年五月

6 〈書評〉
ジョセフ・ストレイヤー（鷲見誠一）『近代国家の起源』『北大史学』一五、昭和五〇年七月

7 〈書評〉
田中正義『イングランド初期経済史の諸問題』『史学雑誌』八八の六、昭和五四年六月

8 〈書評〉
城戸　毅『マグナ・カルタの世紀—中世イギリスの政治と国制一一九九—一三〇七年』『法制史研究』三一、昭和五七年三月

9 〈書評〉
F・W・メイトランド（小山貞夫）『イングランド憲法史』『法制史研究』三二、昭和五八年三月

10 〈再版校訂〉
ゲオルク・フォン・ベロウ（堀米庸三）『ドイツ中世農業史』創文社、昭和六〇年二月
Georg von BELOW, Geschichte der deutschen Landwirtschaft,

aus dem hinterlassenen Manuskript, hrsg. von Friedrich Lütge, 1937.

11 〈書評〉
鶴島博和「一一・一二世紀イングランドに於ける《feudum》概念について—ケント Canterbury 大司教領を主たる素材として」他二点『法制史研究』三四、昭和六〇年三月

12 〈回顧と展望〉
「一九八四年の歴史学界—中世イギリス」『史学雑誌』九四の五、昭和六〇年五月

13 〈書評〉
S・B・クライムズ（小山貞夫）『中世イングランド行政史概説』『法制史研究』三六、昭和六二年三月

14 〈試訳と解説〉
「一二世紀中葉におけるロンドン聖マルティヌス大教会—R・H・C・デイヴィス論文の試訳と解説—」『東海大学札幌教養部彙報』七、昭和六二年六月

R. H. C. Davis, "The College of St Martin-le-Grand and the Anarchy, 1135-54", *London Topographical Record*, vol. 23, 1974.

15 〈書評〉
赤澤計眞『イギリス中世国家史研究』『史学雑誌』九七の九、昭和六三年九月

16 〈学会発表〉
「中世後期イギリスにおける聖職禄—修道会聖職者の在俗聖職禄占有ほか—」法制史学会第四三回研究大会（立命館大学）平成七年一〇月